

開発建設部



「やんばるの豊かな河川・海岸を取り戻そう！」 （仮称）やんばる河川・海岸自然再生協議会設立に向け準備会開催！

第一回設立準備会開催

平成十六年二月四日（水）に、リュウキュウアユを蘇生させる会（会長琉球大学名誉教授池原貞雄）、沖縄総合事務局開発建設部河川課、沖縄県土木建築部河川課の三者は、やんばるの河川及び海岸の自然再生を推進するため、自然再生推進法に基づく自然再生協議会設立のための第一回設立準備会を開催しました。会議では、協議会設置要綱、一般委員の公募方法などが議論されました。

やんばる河川・海岸の自然再生とは

かつて、川は人々の生活と深い関わりがありました。

大雨が降ると増水、氾濫し水害をもたらすことがある一方、周辺の人々にとって川は大事な飲み水やエビ、カニなどの食料を確保する場であり、また、洗濯場、農作業後の水浴び場であり、さらに子供たちにとっては、楽しい遊び場、自然を学ぶ場でもありました。

その後、氾濫や土砂災害から

人々の暮らしを守るため河川改修や砂防施設建設が、また、毎年のように起こる水不足に対処するため多目的ダムが造られました。

これらの基盤整備により人々の安心・安全な生活は確保され、豊かな生活ができるようになった一方で、人々と川との関わりは少なくなり、エビや魚などの生物にとっても棲み難い環境となっていました。中には、リュウキュウアユのように姿が見えなくなってしまう種もいます。

今、これまでの人間の都合を最優先にした整備のあり方を見直し、かつての川と人々の関わり、生き物が安全に住める川を取り戻す等の活動が各地で行われており、源河川等のやんばる河川でもリュウキュウアユの復元活動を行っていますが、海と川を往き来する本来の姿での復活はいまだ、果たせずにいます。河川・海岸の姿が昔と比べ大きく変化したこと

も要因の一つと考えられます。やんばる河川・海岸の健全な生態系の回復を図るためには、現在の河川・海岸を可能な限り本来の原風景に近づけていくことが重要

だと思われます。

（仮称）やんばる河川・海岸自然再生協議会

当協議会は自然再生推進法に基づく協議会であり、専門家、地域住民、NPO、土地の所有者、地方公共団体、関係行政機関が委員となります。当協議会では（仮称）やんばる河川・海岸自然再生の対象地域、自然再生の目標、協議会

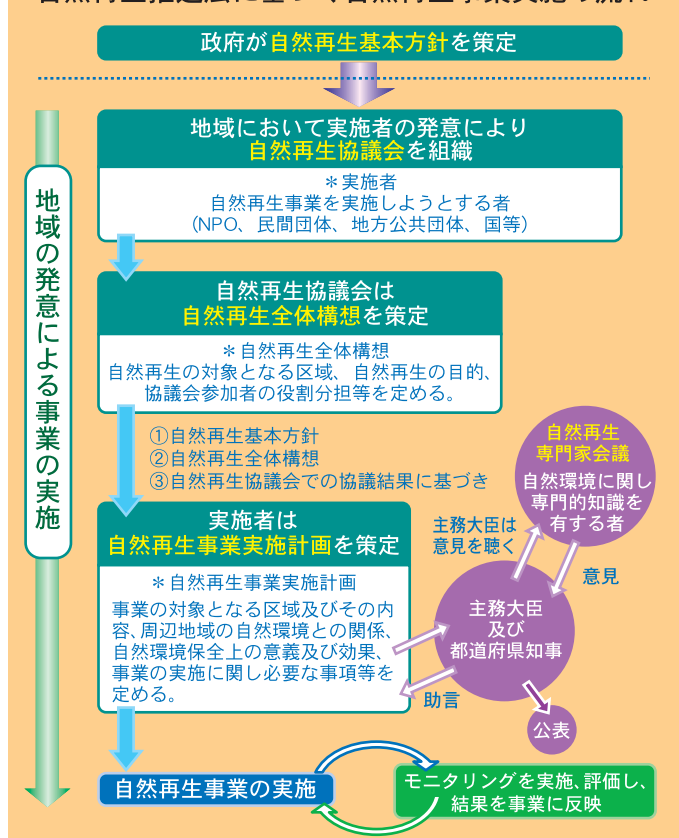
参加者の役割分担及び自然再生事業の実施内容などについて協議致します。
（現在、協議会設立に向けて準備中です。）

自然再生とは

自然再生とは過去に損なわれた自然環境を取り戻すことを目的として、関係行政機関、関係地方公共団体、地域住民、NPO、専門家等の地域の多様な主体が参加して自然環境を保全し、再生し、創出し、またはその状況を維持管理することです。

（自然再生推進法第二条）

自然再生推進法に基づく自然再生事業実施の流れ



開発建設部



那覇港では、那覇ふ頭三重城側と、那覇空港側を海底トンネルで結ぶ県内初の那覇沈埋トンネル整備事業を行っています。長さ約九十メートル、幅約三十七メートルの大きな函を海底で八函連結してできるトンネルは、現在、三重城側から三号函まで沈設・接合されています。

那覇港湾空港工事事務所では、この沈埋トンネルの事業に対する必要性や重要性などを広く県民へアピールし、また、子供達の学習の場としても活用してもらうことなどを目的とした「現場見学会」及び「海の道ミニコンサート」を二月一日に開催しました。

沈埋トンネルという県内初の大型プロジェクトは、県民の当施設に対する期待の強さもあり、一般公募二百人、現場見学会百五十人の募集が一日（六時間）で埋まってしまういました。

那覇沈埋トンネル現場見学会

「海の道ミニコンサート」

水深24mの海底は
不思議なエコーが効いていた!!

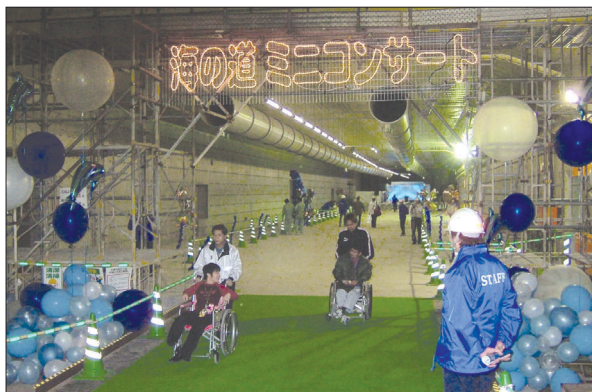
イベント当日は、トンネル現場近くにある天妃小学校の児童・保護者七十組、身障者の方達も招待し大勢の参加者で賑わいました。

今回、お年寄りや体の不自由な方のために、現場ではスロープや手摺りなどを取り付け、安全かつ安心して見学頂けるようにバリアフリー化を心がけました。

コンサートは、「県産品ミュージシャン」のジョニー・宜野湾さんが出演、「うりひゃあでえじなとん」などオリジナル曲約十曲と楽しいおしゃべりでトンネル内の会場で歌と笑いが響いていました。

この他、トンネル内ではビデオ上映、パネル展示などもあり、沈埋トンネルの構造や工程、世界最新の技術などを紹介、参加者は興味深げに見入っていました。また、トンネルの外にある情報

管理塔でも、ビデオ上映を実施し、パネルや模型などを設置、来場者には自由に見学して頂きました。



会場となった建設中の沈埋トンネル内部

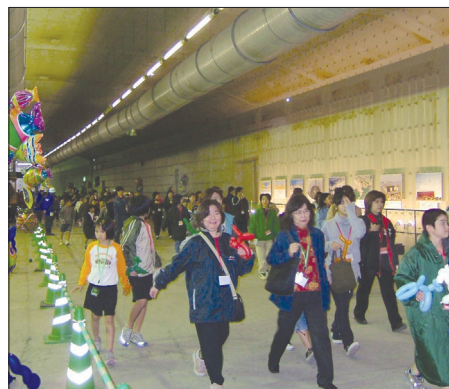
県内初の沈埋トンネル工事は、海の中での工事とあって県民の目に触れる機会が少なく、このイベントを通して多くの人たちに関心を持っていただけたと思います。この沈埋トンネルは片側三車線・往復六車線の自動車専用道路で平成二十一年春の完成を目指しています。



受付の様子



ジョニー・宜野湾コンサート



コンサートその他パネル展示も行われた